

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

- a. 企業間の連携：自治体や大学、NPO、専門家等と連携し、教育現場と地域資源をつなぐ多様なプロジェクトを展開。
- b. IT実装支援：子どもの認知特性や興味関心を可視化するアセスメントツール「spaceQ」等を提供し、教育現場のIT化とメタ認知支援を促進。
- c. 専門人材マッチング：芸術家・クラフト職人・教育者・心理士などと子どもたちをつなぎ、探究的・創造的学びを支援。
- e. 健康経営に関する取組：子どものウェルビーイングを中心に据えたプログラム設計に加え、支援者・関係者の働き方の柔軟性や心身の健康にも配慮。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

1 価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、

取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

2 手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

3 知的財産・ノウハウ

知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

4 働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

・地域の芸術文化資源や自然環境を生かした教育モデルを通じて、地域循環型の経済・福祉・学びの創出に取り組んでいます。

・多様な人材が関われるよう、子育て中の人や遠隔地在住者も参加可能な業務体制の整備を進めています。

2025年7月1日

株式会社SPACE

代表取締役・大塚理恵